

東北厚生局長 殿

秋田大学医学部附属病院長
荻原 順 一

秋田大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 2 1 年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	115.4 人
--------	---------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第 13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	175人	128人	302.4人	看護補助者	30人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	4人	7人	11.0人	理学療法士	3人	臨床検査技師	39人
薬剤師	20人	1人	21.0人	作業療法士	1人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	2人	その他	1人
助産師	23人	0人	23.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	460人	22人	478.6人	臨床工学技士	7人	医療社会事業従事者	3人
准看護師	2人	3人	4.3人	栄養士	0人	その他の技術員	16人
歯科衛生士	0人	1人	1.0人	歯科技工士	2人	事務職員	123人
管理栄養士	4人	0人	4.0人	診療放射線技師	24人	その他の職員	16人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	483.9人	9.6人	493.5人
1日当たり平均外来患者数	947.8人	52.2人	1000.0人
1日当たり平均調剤数	784.9剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
インプラント義歯	1人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術	6人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	41人	・膿疱性乾癬	5人
・多発性硬化症	48人	・広範脊柱管狭窄症	1人
・重症筋無力症	27人	・原発性胆汁性肝硬変	30人
・全身性エリテマトーデス	149人	・重症急性膵炎	3人
・スモン	0人	・特発性大腿骨頭壊死症	36人
・再生不良性貧血	22人	・混合性結合組織病	20人
・サルコイドーシス	57人	・原発性免疫不全症候群	3人
・筋萎縮性側索硬化症	33人	・特発性間質性肺炎	5人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	76人	・網膜色素変性症	13人
・特発性血小板減少性紫斑病	52人	・プリオン病	0人
・結節性動脈周囲炎	19人	・肺動脈性肺高血圧症	2人
・潰瘍性大腸炎	100人	・神経線維腫症	17人
・大動脈炎症候群	14人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	16人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0人
・天疱瘡	23人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	0人
・脊髄小脳変性症	19人	・ライソゾーム病	1人
・クローン病	49人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	15人	・脊髄性筋委縮症	0人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	54人	・球脊髄性筋委縮症	0人
・アミロイドーシス	1人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	0人
・後縦靭帯骨化症	21人	・肥大型心筋症	0人
・ハンチントン病	1人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウリス動脈輪閉塞症)	15人	・ミトコンドリア病	0人
・ウェゲナー肉芽腫症	7人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	0人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	13人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	13人	・黄色靭帯骨化症	0人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング 病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	0人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・培養細胞による先天性代謝異常診断	・
・眼底三次元画像解析	・
・胎児心超音波検査	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	約10/月
部 検 の 状 況	部検症例数 37例 / 部検率 13.50%

(様式第11)

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
IRF2-/-マウスの膝外分泌異常の解明-新しい膝炎治療のターゲットを求めて-	眞嶋 浩聡	第一内科	1,900,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
イノシトールリン脂質による脂肪肝炎と肝癌制御機構の解明-新規治療薬の開発に向けて	堀江 泰夫	第一内科	1,200,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
非小細胞肺癌の進展における血管新生と血管内皮前駆細胞の関与	佐藤 一洋	第二内科	1,500,000	補委 文部科学省
樹状細胞による造血制御	澤田 賢一	第三内科	800,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
悪性リンパ腫のmicroRNA発現異常の探索, 診断と治療法への応用	田川 博之	第三内科	1,700,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
糸球体濾過バリアー機能維持に重要な分子間相互作用と情報伝達系における意義の解析	涌井 秀樹	第三内科	1,600,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
糖尿病性腎症の進展に対するSODによる防御機構の解明	藤田 浩樹	老年科	1,400,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
機能性食品による消化管因子分泌調節機構に関する研究	山田 祐一郎	老年科	1,900,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
内分泌学・代謝学・栄養学分野に関する学術動向の調査研究	山田 祐一郎	老年科	3,200,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
若年者メタボ対策に関する研究	山田 祐一郎	老年科	525,000	補委 秋田県
若年者メタボ対策に関する研究	山田 祐一郎	老年科	525,000	補委 秋田県
肝切除術が塩酸ゲムシタピン代謝に与える影響に関する研究	山本 雄造	第一外科	900,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
音響力学によるストレス・プレコング法によるストレス・プレコング法の開発	久米 真	第一外科	1,000,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
StageIII結腸癌治療切除例に対する術後補助化学療法としてのUFT/Leucovorin療法とTS-1療法の第III相比較臨床試験および遺伝子発現に基づく効果予測因子の探索的研究	佐藤 誠二	第一外科	105,000	補委 財団法人 先端医療振興財団
磁界印加を引金に薬剤を放出する機能性微粒子を用いた癌治療戦略	南谷 佳弘	第二外科	5,100,000	補委 独立行政法人日本学術振興会

計 15

(様式第11)

(様式第11)

免疫能からみた悪性腫瘍のリンパ節転移に関する研究	伊藤 学	第二外科	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
急性肺障害における血管内皮細胞内HSP70の抗炎症作用に関する研究	齊藤 元	第二外科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肺癌のセンチネルリンパ節の微小転移の検索	小野 貴史	第二外科	3,000,000	補委	文部科学省
感温性磁性体を用いた悪性腫瘍の低侵襲的温熱療法に関する研究	小川 純一	第二外科	2,000,000	補委	独立行政法人科学技術振興機構JST イノベーションサテライト岩手
自家蛍光観察システムを用いた新しい術中心筋モニターの開発	山本 文雄	心臓血管外科	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脊髄損傷における酸化ストレス発生を介したアポトーシス活性化機構の解明	鈴木 明	脳神経外科	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
3次元脳血管画像の導入による新規マルチモダル手術支援システムの開発	溝井 和夫	脳神経外科	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脳磁図等マルチモダル計測による頸椎症性脊髄症の客観的治療効果判定法の確立	東山 巨樹	脳神経外科	1,900,000	補委	文部科学省
胆道閉鎖症動物モデル—ヤツメウナギの可能性—	森井 真也子	小児外科	1,400,000	補委	文部科学省
小児病態における細胞内脂質輸送の研究	高橋 勉	小児科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
重症心身障害児(者)の病因・病態解明,治療・療育,および施設のあり方に関する研究(分担研究課題名)小児期発症脳変性疾患の遺伝子診断	矢野 珠巨	小児科	1,000,000	補委	国立精神・神経センター
神経栄養因子の女性生殖領域における役割の包括的検討とその臨床応用	河村 和弘	産科婦人科	2,100,000	補委	文部科学省
秋田県不妊専門相談センター事業	田中 俊誠	産科婦人科	2,582,685	補委	秋田県
髄液ヒスタミン値を用いた過眠症の診断確立と反復性過眠症での視床下部蛋白の原因検索	清水 徹男	神経科精神科	1,700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
2次性の過眠症の病態検討とナルコレプシーでの脳内鉄代謝とむずむず脚の病態の検討	神林 崇	神経科精神科	1,700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ナルコレプシー治療薬モダフィニルの有効性の性差と遺伝子多型による差異に関する検討	菊池 結花	神経科精神科	2,300,000	補委	文部科学省
尿中オレキシン測定によるナルコレプシーの診断	武村 史	神経科精神科	1,000,000	補委	文部科学省

計 17

(様式第11)

(様式第11)

気分障害の時間生物学的治療とその作用機序に関する研究	越前屋 勝	神経科精神科	1,400,000	補委	文部科学省
睡眠医療における医療機関連携ガイドラインの有効性検証に関する研究(分担研究課題名)研究の総括 成果の公表	清水 徹男	神経科精神科	600,000	補委	国立精神・神経センター
睡眠医療における医療機関連携ガイドラインの有効性検証に関する研究(分担研究課題名)過眠症ガイドラインの有効性検証をMSLTとオレキシン, ヒスタミン値の相関の検討	神林 崇	神経科精神科	600,000	補委	国立精神・神経センター
誘導型遺伝子改変マウスによるケラチン病に対する蛋白フォールディング調節療法の創生	眞鍋 求	皮膚科	1,400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
白髪化に対する抵抗性獲得の分子基盤:PI3K経路とStat3経路の動的役割	河村 七美	皮膚科	1,700,000	補委	文部科学省
高脂肪食による前立腺癌の進展促進の分子メカニズムの解明	羽瀧 友則	泌尿器科	4,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
進行性前立腺癌の予後予測ならびに治療における新規標的分子の探索的研究	土谷 順彦	泌尿器科	1,800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
膀胱がん好発モデルマウスを用いた治療標的分子の探索	羽瀧 友則	泌尿器科	500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
膀胱癌におけるAKT-PI3K pathwayの解析と制御にむけての研究	鶴田 大	泌尿器科	1,600,000	補委	文部科学省
尿路上皮癌および腎細胞癌におけるマイクロRNA関連遺伝子多型とその機能解析	堀川 洋平	泌尿器科	2,000,000	補委	文部科学省
腎移植ドナーの腎代償性肥大と移植腎機能、ドナー残腎機能との関連性	齋藤 満	泌尿器科	1,600,000	補委	文部科学省
毛様動脈血管平滑筋に対するプロスタグランジン製剤の効果についての薬理学的研究	吉富 健志	眼科	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
前庭有毛細胞のKCNQ4変異によって前庭平衡機能障害が本当に引き起こされないのか	近江 永豪	耳鼻咽喉科	500,000	補委	文部科学省
頭頸部癌の浸潤・転移における変異EGFR(EGFRvIII)の関与と機序の解析	鈴木 真輔	耳鼻咽喉科	1,600,000	補委	文部科学省
頭頸部癌扁平上皮癌根治治療後のTS-1補助化学療法を検討	石川 和夫	耳鼻咽喉科	0	補委	財団法人先端医療振興財団
身体動揺・階段昇降動作計測による平衡機能障害評価システムの開発	石川 和夫	耳鼻咽喉科	851,000	補委	秋田県
虚血性脳傷害におけるエストロゲンと低体温の併用効果	長崎 剛	麻酔科	1,700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
$\alpha 2$ アゴニストの虚血後投与—低体温併用療法による脳保護作用の研究	佐藤 浩司	麻酔科	1,600,000	補委	文部科学省

計 18

(様式第11)

(様式第11)

エナメル芽細胞株と象牙芽細胞株を用いた上皮-間葉相互作用による歯の再生医療の開発	中田 憲	歯科口腔外科	1,100,000	補委	文部科学省
骨芽細胞への分化促進シグナルとしてメカニカルストレスを用いた骨再生医療の開発	伊藤 悠	歯科口腔外科	1,400,000	補委	文部科学省
細胞の分化・増殖を誘発する新規生体内埋入材料の臨床への応用	福田 雅幸	歯科口腔外科	4,992,000	補委	独立行政法人科学技術振興機構JSTイノベーションサテライト岩手
光造形技術による高精度実物大顎口腔モデルの開発と臨床応用	田中 清志	歯科口腔外科	4,999,000	補委	独立行政法人科学技術振興機構JSTイノベーションサテライト岩手
吸入麻酔薬による術後認知機能低下の機序に関する研究	堀口 剛	中央手術部	800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肥満がアレルギー性炎症細胞に与える影響の解明と効率的な治療の確立	植木 重治	中央検査部	1,700,000	補委	文部科学省
レチノイド受容体をターゲットにした新規アレルギー疾患治療薬の開発	植木 重治	中央検査部	1,999,000	補委	独立行政法人科学技術振興機構JSTイノベーションサテライト岩手
ユビキタス技術と加速度センサーによる患者・機器状態検知型医療安全システムの研究	近藤 克幸	医療情報部	4,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
秋田診療情報共有化システムの検証と今後のあり方に関する研究	近藤 克幸	医療情報部	2,792,160	補委	秋田県
音声主導型看護医療システムに関する研究開発 (082302005)	近藤 克幸	医療情報部	442,000	補委	総務省
平成21年度ユビキタス健康医療技術推進事業	近藤 克幸	医療情報部	3,331,509	補委	総務省
内皮幹細胞及び樹状突起細胞の動態からみた全身諸臓器血管活性化	南條 博	病理部	700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
高脂肪食、肥満下の前立腺癌発症・進展におけるヘッジホググーGLI伝達経路の役割	成田 伸太郎	血液浄化療法部	1,100,000	補委	文部科学省
リンパ流を考慮した温度感受性高分子ポリマーを用いた食道癌に対する温熱化学療法	丸山 起誉幸	腫瘍センター	800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肝細胞特異的PTEN欠損マウスを用いた、肥満に対する遺伝子治療の試み	大嶋 重敏	医師キャリア形成支援センター	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
がん治療に関する調査研究	病院長		15,040,150	補委	秋田県
がん治療に関する調査研究	病院長		4,295,184	補委	秋田県

計 14

合計 64

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)
2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Hepatol	Eicosapentaenoic acid ameliorates steatohepatitis and hepatocellular carcinoma in hepatocyte-specific Pten-deficient mice	石井 元	第一内科
Hepatol Res	Sex difference in the liver of hepatocyte-specific Pten-deficient mice: A model of nonalcoholic steatohepatitis.	姉崎有美子	第一内科
J Gastroenterol	Attenuation of gastric mucosal inflammation induced by indomethacin through activation of the A2A adenosine receptor in rats.	小泉 重仁	第一内科
Thromb Haemost	Increased production of ADAMTS13 in hepatic stellate cells contributes to enhanced plasma ADAMTS13 activity in rat models of cholestasis and steatohepatitis.	眞嶋 浩聡	第一内科
Gastroenterology	Antiapoptotic Effect of c-Jun N-terminal Kinase-1 through Mcl-1 Stabilization in TNF-Induced Hepatocyte Apoptosis.	三浦 光一	第一内科
Gastroenterology	c-Jun N-terminal Kinase-1 From Hematopoietic Cells Mediates Progression From Hepatic Steatosis to Steatohepatitis and Fibrosis in Mice	三浦 光一	第一内科
Circ J 73 419-427	The pathological role of transient receptor potential channels in heart disease.	Watanabe H Murakami M Ohba T Ono K Ito H	第二内科
J Cardiol 54 262-272	Cardioprotective effect of an L/N-type calcium channel blocker in patients with hypertensive heart disease.	Watanabe H	第二内科

小計 8

Biochem Biophys Res Commun 381 27-32	Modified autonomic regulation in mice with a P/Q-type calcium channel mutation.	Ohba T Takahashi E Murakami M	第二内科
Biochem Biophys Res Commun 389 172-176	Essential role of STIM1 in the development of cardiomyocyte hypertrophy.	Ohba T Watanabe H Murakami M Sato T Ono K Ito H	第二内科
Am J Cardiol 103 1249-1254	Comparison of characteristics and significance of intermediate versus early versus no recurrence of atrial fibrillation after catheter ablation.	Koyama T Sekiguchi Y Tada H Arimoto T Yamasaki H Kuroki K Machino T Tajiri K Xu D.Z Kanemoto M Sugiyasu A Kuga K Aonuma K	第二内科
Circ J 73 256-263	Molecular and electrical remodeling of L- and T-type Ca(2+) channels in rat right atrium with monocrotaline-induced pulmonary hypertension.	Koyama T T Ono K Watanabe H Ohba H Murakami M Iino K Ito H	第二内科
Akita J Med 36 59-66	Renal transplantation Improves Cardiac Function.	Munehisa Y Watanabe H Terata S Kosaka T Hasegawa H Sato S Habuchi T Ito H	第二内科
Akita Med 36 107-113	Direct effect of percutaneous transluminal angioplasty on the heart in patient with peripheral artery disease.	Oguma Y Iino K Watanabe H Kosaka T Hasegawa H Ito H	第二内科

小計 6

Circ J 73 1055-1061	Association between perceived stress and plasma B-type natriuretic peptide concentrations.	Koizumi M Kaneko Y Tosa S Watanabe H Kosaka T Hasegawa H Motohashi Y Ito H	第二内科
J of Cardiol 54 52-58	Effect of pioglitazone on left ventricular diastolic function and fibrosis of type III collagen in type 2 diabetic patients.	Terui G Goto T Katsuta M Aoki I Ito H	第二内科
J Cardiol Jpn Ed 3 268-272	急性期脳梗塞と急性心筋梗塞を同時期に発症したとみられる1例	藤原理佐子 泉学 澤田元史 鈴木明文 小野幸彦 寺田舞 石田大 伊藤宏	第二内科
International Heart J 50 173-182	Usefulness of Plasma BNP Levels as a Marker of Left Ventricular Wall Stress in Obese Individuals.	Tosa S Watanabe H Iino K Terui G Kosaka T Hasegawa H Ito H	第二内科
Circ J.2010 (in Press)	Beneficial Effects of Adaptive Servo Ventilation in Patients With Chronic Heart Failure.	Watanabe H	第二内科
Biochem Biophys Res Commun 2010 394(3) 464-9	Decreased calcium channel currents and facilitated epinephrine release in the Ca ²⁺ channel beta3 subunit-null mice.	Watanabe H	第二内科
Circ J.2010 74(1) 203-206	Double Transgenic Mice Crossed GFP-LC3 Transgenic Mice With α MyHC-mCherry-LC3 Transgenic Mice Are a New and Useful Tool to Examine the Role of Autophagy in the Heart.	Watanabe H	第二内科

小計 7

Diabet.Med. 26 187-188	Miglitol induces prolonged and enhanced glucagon-like peptide-1 and reduced gastric inhibitory polypeptide responses after ingestion of a mixed meal in Japanese Type 2 diabetic patients.	Yamada Y	老年科
J.Am.Soc.Nephrol. 20 1303-1313	Reduction of renal superoxide dismutase in a murine model of progressive diabetic nephropathy.	Yamada Y	老年科
Metab.Res.41 910-915	Diurnal changes in urinary excretion of IgG, transferrin, and ceruloplasmin depend on diurnal changes in systemic blood pressure in normotensive, normoalbuminuric type 2 diabetic patients.	Yamada Y	老年科
J Surg Res 155 32-39 ,2009	Implication of protein kinase A for a hepatoprotective mechanism of milrinone pretreatment.	Yamamoto Y	第一外科
Ann Surg Oncol 2009 10:2805-17	Clinical and prognostic significance of urinary trypsin inhibitor in patients with hepatocellular carcinoma after hepatectomy.	Yamamoto Y	第一外科
Journal of Pancreas 2010 Jan 8;11(1): 45-8	pseudopapillary tumor of the pancreas with concomitant pancreas divisum. A case report.	Yamamoto Y	第一外科
Shock.2010 33:306- 14	Change in the fatty acid composition of the liver with the administration of n-3 polyunsaturated fatty acids and the effects on warm ischemia / reperfusion injury in the rat liver.	Yamamoto Y	第一外科
Asian Cardiovasc Thorac Ann.17(3) 1-4	Leaflet Suspension and Subvalvular Annuloplasty in Aortic Valve Prolapse.	Izumoto Y Kawazoe K Ota T Ishibashi K Yamamoto H Yamamoto F	心臓血管 外科

小計 8

Vasc Surg.50(1) 195-197	Vascular prosthesis rupture caused by contact with rib stump after thoracic aorta replacement.	Yamamoto H Yamamoto F Ishibashi K Noishiki Y	心臟血管 外科
Gen Thorac Cardiovasc Surg.57(8) 413-417	In situ replacement of the thoracic aorta using an equine pericardial roll graft for an aortobronchial fistula due to aortic rupture.	Yamamoto H Yamamoto F Ishibashi K Chida Y Minamiya Y Nanjyo H	心臟血管 外科
Gen Thorac Cardiovasc Surg.57(8) 421-425	Primary sarcoma of the right ventricle: surgical and adjuvant therapy.	Yamamoto H Yamamoto F Ishibashi K Matsukawa M Hasegawa H	心臟血管 外科
Interact Cardiovasc Thorac Surg.9(4)605-608	Enhanced coronary vascular turgor effect on post-ischemic diastolic function in hypertrophied hearts	Yamamoto H Yamamoto F Ichikawa H	心臟血管 外科
Cancer Science 2009 May;100(5): 956-60	Newly synthesized curcumin analog has improved potential to prevent colorectal carcinogenesis in vivo.	Shibata H	腫瘍内科
Organic and Biomolecular Chemistry 2009 Sep 21;7(18): 3772-81	Syntheses of naturally occurring cytotoxic [7.7]paracyclophanes, (-)-cylindrocyclophane A and its enantiomer, and implications for biological activity	Shibata H	腫瘍内科
International Journal of Oncology 2009 Oct;35(4):867-7 2	Curcumin analogue GO-Y030 inhibits STAT3 activity and cell growth in breast and pancreatic carcinomas.	Shibata H	腫瘍内科
British Journal of Cancer 2009 Dec 15; 101(12):1972-7	Phase I / II study of sequential therapy with irinotecan and S-1 for metastatic colorectal cancer.	Shibata H	腫瘍内科

小計 8

Bioorganic & Medicinal Chemistry 2010 Feb;18(3): 1083-92 (accepted 2009)	Structure-activity relationship of C5-curcuminoids and synthesis of their molecular probes thereof.	Shibata H	腫瘍内科
ANL.36.30-35	A clinical epidemiological study in 2169 patients with vertigo.	Yin M Ishikawa K Wong WH Shibata Y	耳鼻咽喉科
Journal of Laryngology and otology, 123,1271-1275	Adenosquamous carcinoma of maxillary sinus: case showing complete response to S-1.	Suzuki S Hanata K Nanjo H Ishikawa K	耳鼻咽喉科
Journal of infection and chemotherapy,15, 335-339	Safety and efficacy of S-1 chemotherapy in recurrent/metastatic head and neck cancer.	Suzuki S Ishikawa K	耳鼻咽喉科
Allergology International 2009; 58: 247-253	Peroxisome Proliferator-Activated Receptor γ Negatively Regulates Allergic Rhinitis in Mice.	Fukui N Honda K Ito E Ishikawa K	耳鼻咽喉科
呼吸と循環 57 211-216	閉塞性睡眠時無呼吸低呼吸症候群例における終夜の食道内圧値	板垣 芳明	耳鼻咽喉科
International Journal of Cancer	Cytoplasmic accumulation of connexin32 expands cancer stem cell population in human HuH7 hepatoma cells by enhancing its self-renewal.	Kawasaki Y Omori Y Li Q Nishikawa Y Yoshioka T Yoshida M Ishikawa K Enomoto K	耳鼻咽喉科
ペインクリニック 30,203-207、2009	肩関節手術後疼痛に対するエコーガイド下持続腕神経叢ブロックの有効性	合谷木 徹 梅原 志及 西川 俊昭	麻酔科

小計 8

Acta Anaesthesiologica Scandinavica 53, 1176-1183,2009	The combined neuroprotective effects of lidocaine and dexmedetomidine after transient forebrain ischemia in rats.	Goyagi T Nishikawa T Tobe Y Masaki Y	麻酔科
Acta Anaesthesiologica Scandinavica 54, 377-382,2010	Neuroprotective effects of a combination of dexmedetomidine and hypothermia after incomplete cerebral ischemia in rats.	Sato K Kimura T Nishikawa T Tobe Y Masaki Y	麻酔科
麻酔 58 545-551 2009	各種麻酔中の危機管理「脳神経外科手術」	西川俊昭	麻酔科
麻酔58 866-871 2009	新しい循環系モニタリングーその有用性ー「脳灌流指標：局所脳酸素飽和度（NIRS,INVOS）」	西川俊昭	麻酔科
蘇生29 17-22 2010	選択的β遮断薬の局所脳虚血保護効果	合谷木 徹 西川俊昭	麻酔科
第13回日本神経麻酔・集中治療研究会プロシーディング 23-25 2009	ラットー過性前脳虚血モデルにおけるRhoキナーゼ（ファルジル）とデクスメドミジン併用療法の脳保護効果	木村 哲 佐藤 浩司 西川 俊昭	麻酔科
第13回日本神経麻酔・集中治療研究会プロシーディング 26-29 2009	ラット局所脳虚血における選択的β1遮断薬の肌保護効果	合谷木 徹 西川 俊昭	麻酔科
第13回日本神経麻酔・集中治療研究会プロシーディング 59-60 2009	セボフルラン麻酔後の脳内・血液内のセボフルラン量	堀口 剛 眞崎 容子 西川 俊昭	麻酔科
Jpn.J.Ophthalmol, 53,536-540	Temperature-dependent ultrastructural changes in the cone interphotoreceptor matrix.	Ishikawa M	眼科

小計 9

Clinical Ophthalmol3,5 27-529	Peripheral T-cell Lymphoma of the Eyelid.	Ishikawa M	眼科
Clinical Ophthalmol3,4 93-500	Effects of brinzolamide vs timolol as an adjunctive medication to latanoprost on circadian intraocular pressure control in primary open-angle glaucoma Japanese patients.	Ishikawa M	眼科
Ophthalmologica,223 4,233-238	Clinical evaluation of local ocular toxicity in candidate anti-adenoviral agents in vivo.	Inoue H	眼科
眼科,51,11, 1567-1571	治療経過中に強度の乳頭浮腫及び乳頭部出血にて再発したVogt-小柳-原田病の症例	早川 宏一	眼科
Cornea,29,1,73-79	Cauterization of central cornea induces recruitment of major histocompatibility complex class II+ Langerhans cells from limbal basal epithelium.	Chen W	眼科
Experimental Eye Research,90,2, 324-329	Reduced effects of endothelium-derived hyperpolarizing factor in ocular ciliary arteries from spontaneous hypertensive rats.	Dong Y	眼科
臨床眼科, 64, 3, 307-310	正常人における眼圧と血圧の関係	澤田 有	眼科
脳神経外科ジャーナル18	側脳室体部腫瘍の手術	溝井 和夫	脳神経外科
Spine 34	Limaprost alfadex improves myelopathy symptoms in patients with cervical spinal canal stenosis.	Sugawara T Hirano Y Higashiyama-N Mizoi K	脳神経外科

小計 9

Acta Neurochir,151	Long term outcome and adjacent disc degeneration after anterior cervical discectomy and fusion with titanium cylindrical cages.	Sugawara T Ito Y Hirano Y Higashiyama-N Mizoi K	脳神経外科
Akita J.Med.36	Angiotensin Receptor Blocker Candesartan Binds to and Upregulates Molecular Chaperone HSP90 in the Hippocampal CA1 Neurons -- A Possible Mechanism of Neuroprotection by Angiotensin Receptor Blocker-.	Kokubun K Sugawara T Ishida R Fujiwara K Ito H Mizoi K	脳神経外科
Akita J.Med.36	Dorsal root regeneration into transplants of dorsal or ventral half of embryonic spinal cord.	Ohta T Ito Y Alan T Mizoi K	脳神経外科
J Clin Pharm Ther 2009 Dec;34(6): 683-92	Effect of telmisartan, valsartan and candesartan on mycophenolate mofetil pharmacokinetics in Japanese renal transplant recipients.	Miura M Sato H Kagaya H Saito M Inoue T Ohkubo T Habuchi T Suzuki T	泌尿器科
Basic Clin Pharmacol I Toxicol 2010 Feb 2	Correlation of IMPDH1 Gene Polymorphisms with Subclinical Acute Rejection and Mycophenolic Acid Exposure Parameters on Day 28 after Renal Transplantation.	Kagaya H Miura M Saito M Habuchi T Sato S	泌尿器科
Aktuelle Urol. 2010 Jan;41 Suppl 1: S53-6	Mass screening of prostate cancer and its Impact on inhabitants in Akita Prefecture, Japan.	Kato T Habuchi T Tsuchiya N Sato K Kitajima S Kato S	泌尿器科
Int J Urol. 2009 Nov;16(11) : 854	Laparoscopic nephrectomy in patients with renal vein and/or inferior vena cava anomalies: Video presentation.	Habuchi T	泌尿器科
Int J Urol 2009 Nov;16(11):915-7	Burden of male stress urinary incontinence: a survey among urologists in Japan.	Habuchi T	泌尿器科

小計 8

Urol Int.2009;83(2):141-5	Cystoprostatectomy as a treatment of prostate Cancer involving the bladder neck.	Habuchi T	泌尿器科
Xenobiotica.2009 Oct 1.	Inter-individual difference determinant of Prednisolone pharmacokinetics for Japanese renal transplant recipients in the maintenance stage.	Habuchi T	泌尿器科
Eur J Clin Pharmacol. 2009 Oct;65(10):1047-53	No impact of age on dose-adjusted pharmacokinetics of tacrolimus,mycophenolic acid and prednisolone 1 month after renal transplantation.	Habuchi T	泌尿器科
Oncol Rep.2009 Sep; 22(3):493-9	Clinical significance of a single nucleotide Polymorphism and allelic imbalance of matrix metalloproteinase-1 promoter region in prostate cancer	Habuchi T	泌尿器科
Int J Cancer.2009 Dec 15;125(12):2836-43	The novel tumor-suppressor Mel-18 in prostate Cancer:Its functional polymorphism,expression, and clinical significance.	Habuchi T	泌尿器科
Ther Drug Moint. 2009 Aug;31(4):467-74	Early phase limited sampling strategy characterizing tacrolimus and mycophenolic acid pharmacokinetics adapted to the maintenance phase of renal transplant patients.	Habuchi T	泌尿器科
Akita J Med.2009, 36:59-66 ,	Renal transplantation improves cardiac function.	Habuchi T	泌尿器科
Urology.2009 May; 73(5):1104-9	Prevalence of skeletal complications and their impact on survival of hormone refractory prostate cancer patients in Japan.	Habuchi T	泌尿器科

小計 8

Eur Urol.2009 Jun; 55(6) :1397-407	Laparoscopic Radical Nephroureterectomy : A Multicenter Analysis in Japan.	Habuchi T	泌尿器科
Cancer Immunol Immunother.2009 Apr;58(4):493-502	Intravesical administration of gammadelta T cells suc cessfully prevents the growth of bladder cancer in th e murine model.	Habuchi T	泌尿器科
Eur J Clin Pharmacol. 2009 May;65(5): 473-81	CYP3A5 [□] 1 allele associated with tacrolimus trough concentrations but not subclinical acute rejection or chronic allograft nephropathy in Ja panese renal transplant recipients.	Habuchi T	泌尿器科
Medical Science Monitor	Curettage with pasteurization in situ for grade 1 cho ndrosarcoma - long-term follow up study of less inv asive surgical procedure.	岡田 恭司	整形外科
関節外科	低悪性度骨腫瘍と良性骨病変との鑑別	岡田 恭司	整形外科
整形・災害外科	整形外科手術・私のポイント TLIF 経椎間孔腰椎 椎体間固定術	島田 洋一	整形外科
日本脊椎脊髄病学会 雑誌	脊推脊髄手術における硬膜修復法：生体適合性代用 硬膜	島田 洋一	整形外科
東日本整形災害外科 学会雑誌	気管形成術後にハローベストを使用した3例	瀬川 豊人	整形外科

小計 8

Anticancer Research	Infiltration by Macrophages and Lymphocytes in Transplantable Mouse Sarcoma after Irradiation with High-intensity Focused Ultrasound.	千田 秀一	整形外科
Spine Journal	Enlargement of an osseous loose body in the cervical spine with cord compression.	本郷 道生	整形外科
Osteoporosis Japan	骨粗鬆性脊柱変形と背筋力の関係	本郷 道生	整形外科
Pediatr. Int.	Relationship between free T4 levels and postnatal Steroid therapy in preterm infants.	新井 浩和	小児科
Brain Dev.	Ascorbic acid protects the newborn rat brain from Hypoxic-ischemia.	三浦 忍	小児科
Intern.Med.	Long-term administration of beraprost sodium for pulmonary arterial hypertension associated with congenital heart disease.	小山田 遵	小児科
Brain Dev.	Review of Alexander disease: beyond the classical Concept of leukodystrophy.	澤石由記夫	小児科
J. Am. Soc. Echocardiogr.	Different determinants of residual tricuspid regurgitation after tricuspid annuloplasty: comparison of atrial septal defect and mitral valve prolapse.	豊野 学朋	小児科

小計 8

Am. J. Cardiol	Persistent tricuspid regurgitation and its predictor in adults after percutaneous and isolated surgical closure of secundum atrial septal defect.	豊野 学朋	小児科
日本小児科学会雑誌	新生児同種免疫性血小板減少症の経過観察中に急性巨核芽球性白血病を発症した新生児の1例	安達 裕行	小児科
小児科臨床	急激な視力低下で発症した鼻性視神経症の1例	平井 大士	小児科
日本周産期・新生児医学会雑誌	先天性筋強直性ジストロフィーの家族支援	石田 和子	小児科
日本小児科学会雑誌	小児特発性ネフローゼ症候群における細菌性腹膜炎	田村 啓成	小児科
日本小児科学会雑誌	乳児期早期に末期腎不全に至り、腎形成異常を呈したWT1異常性の1例	田村 啓成	小児科
児童青年精神医学とその近接領域	自閉症スペクトラムの観点から検討した選択性縮黙の4例	渡部 泰弘	小児科
Future Oncology., 5(4),459-463	Evaluation of the efficacy of systematic pelvic Lymphadenectomy in endometrial cancer.	Fujimoto T Tanaka T	産科婦人科

小計 8

Gynecologic Oncology .,112(2),342-347	Endometrioid uterine cancer:histopathological risk factors of local and distant recurrence.	Fujimoto T Nanjo H Fukuda J Nakamura A Mizunuma H Yaegashi N Sugiyama T Kurachi H Sato A Tanaka T	産科婦人科
Current Opinion in Obstetrics and Gynecology.,21(1),10-14	Role of complete para-aortic lymphadenectomy in endometrial cancer.	Fujimoto T Fukuda J Tanaka T	産科婦人科
Developmental Biology.,327(1),62-70	Paracrine regulation of the resumption of Oocyte meiosis by endothelin-1.	Kawamura K Ye Y Liang CG Kawamura N Gelpke MS Rauch R Tanaka T Hsueh AJ	産科婦人科
Endocrinology.,150 (8),3774-3782	Brain-Derived Neurotrophic Factor Promotes Implantation and Subsequent Placental Development by Stimulating Trophoblast Cell Growth and Survival.	Kawamura K Kawamura N Sato W Fukuda J Kumagai J Tanaka T	産科婦人科
日アフエレスシス会誌	急性肝不全に対する Plasma Dia-Filtration (PDF) 「Plasma Filtration with Dialysis」療法	中永士師明	救急部
日東医誌	整形外科領域の疼痛疾患に対するブシ末の有用性について	中永士師明	救急部
日東医総	芍薬甘草湯の併用が症状の改善に有効であった破傷風の1例	中永士師明	救急部

小計7

漢方医学	甘草による浮腫が甘草減量で軽減しブシ末で冷え症が改善した1例	中永士師明	救急部
J.Chemother	Clinical Evaluation after a Notification Policy of Linzolid Use: A Case Series of 22 Patients	Ito W	中央検査部
Allergy	Soluble vascular cell adhesion molecule-1 (sVCAM-1) induces human eosinophil migration.	Ueki S	中央検査部
Int.Arch.Allergy. Immunol	Regulation of peroxisome proliferator-activated receptor-gamma expression in human eosinophils by estradiol.	Ueki S	中央検査部
J.Allergy.Cline.Immunol	Phosphatidylinositide 3-kinase deficient Mice Fail to Develop Allergic Airway Hyperresponsiveness, Inflammation, and Remodeling.	Takeda M	中央検査部
Int.Arch.Allergy. Immuno	15-Deoxy-Delta(12,14)-prostaglandin J2 induces IL-8 and GM-CSF in a human airway epithelial cell line.	Chiba T	中央検査部
Allergy	Thioredoxin reduces C-C chemokine-induced chemotaxis of human eosinophils.	Kobayashi N	中央検査部
Allergology.Int,	Activation of Eosinophils by Lipopolysaccharide-Induced Monocyte-Derived Cytokines.	Kobayashi N	中央検査部
臨床病理	秋田県における感染制御業務の現状分析 2007年アンケート調査から	萱場 広之 ほか	中央検査部

小計 9

日臨化東北会誌	FDP試薬の特性により生じた乖離抗体の解析	菊地優子 ほか	中央検査部
Am J Hematol.,84, 144-148	Acquired pure red cell aplasia associated with malignant lymphomas: a nationwide cohort study in Japan for the PRCA Collaborative Study Group.	Hirokawa M	腫瘍情報センター
Hematol Oncol Cline North Am.,A23,249-59	Diagnosis and management of acquired pure red cell aplasia.	Hirokawa M	腫瘍情報センター
Gen Thorac Cardiovasc Surg	Radio-guided thoracoscopic surgery with (99m) Tc-methoxy-isobutylisonitrile for treating an ectopic mediastinal parathyroid adenoma in an adolescent girl.	南谷 佳弘	第二外科
Lung Cancer	Expression of the chemokine receptor CXCR4 Correlates with a favorable prognosis in patients with adenocarcinoma of the lung.	南谷 佳弘	第二外科
Dig Surg	Use-of omental and rectus abdominis muscular Flaps to close an esophago-bronchial fistula Developing for 8 years.	本山 悟	第二外科
World J Surg	Status of Involved Lymph Nodes and Direction of Metastatic Lymphatic Flow Between Submucosal and T2-4 Thoracic Squamous Cell Esophageal Cancers.	本山 悟	第二外科
Surgery	Interferon-gamma 874A>T genetic polymorphism is associated with infectious complications following surgery in patients with thoracic esophageal cancer.	本山 悟	第二外科

小計 8

J Am Coll Surg	C-reactive protein 1059G>C genetic polymorphism influences serum C-reactive protein levels after esophagectomy in patients with thoracic esophageal cancer.	本山 悟	第二外科
Ann Surg Oncol	CRP Genetic Polymorphism Is Associated with Lymph Node Metastasis in Thoracic Esophageal Squamous Cell Cancer.	本山 悟	第二外科
World J Surg	Tracheobronchial Lesions Following Esophagectomy: Erosions, Ulcers, and Fistulae, and the Predictive Value of Lymph Node-Related Factors.	丸山起誉幸	第二外科
Interact Cardiovasc Thorac Surg	Sentinel node mapping and micrometastasis in patients with clinical stage IA non-small cell lung cancer.	小野 貴史	第二外科
Cancer Sci	Inhibition of heat shock protein 90 sensitizes melanoma cells to thermosensitive ferromagnetic particle-mediated hyperthermia with low Curie temperature.	伊藤 亜樹	第二外科
日本外科学会雑誌	肺癌におけるセンチネルリンパ節の意義と新たな展開	南谷 佳弘	第二外科
外科	食道癌術後肺転移に対し化学放射線療法を施行し長期完全奏功を維持している1例	丸山起誉幸	第二外科
日臨外会誌	食道癌術後再建胃管GISTに対して核出術を行った1例	中津 敏充	第二外科

小計 8

日呼外会誌	慢性膿胸開窓術後症例に発生した脳空気塞栓症の1例	戸田 洋	第二外科
胸部外科	急性呼吸促症候群に対する免疫賦活経腸栄養剤	佐々木智彦	第二外科
Hematol Oncol Clin North Am.,A23, 249-259	Diagnosis and management of acquired pure red cell aplasia.	Sawada K Hirokawa M Fujisima N	第三内科
Am J Hematol.,84, 144-148.	Acquired pure red cell aplasia associated with malignant lymphomas:A nationwide cohort study in Japan for PRCA Collaborative Study Group.	Hirokawa M Sawada K Fujishima N Kawano F Kimura A Watanabe T Arai A Matsui T Nakao S Urabe A Omine M Ozawa K	第三内科
Clin Nephrol.,71, 608-616	GATA-3 is upregulated in peripheral blood mononuclear cells from patients with minimal change nephrotic syndrome.	Komatsuda A Wakui H Iwamoto K Togashi M Masai R Maki N Sawada K	第三内科
Clin Exp Rheumatol., 27,1060.	Up-regulated expression of suppressor of cytokine signaling (SOCS) proteins mRNA in peripheral blood mononuclear cells from patients with systemic lupus erythematosus.	Komatsuda A Wakui H Iwamoto K Sawada K	第三内科

小計 6

Int J Hematol.,89, 533-537	Kidney-limited intravascular large B cell Lymphoma:a distinct variant of IVLBCL?	Kameoka Y Takahashi N Komatsuda A Tagawa H Hamai K Hirokawa M Wakui H Ichinohasama R Sawada K	第三内科
Clin Nephrol.,71, 9-20	Clinicopathological features and prpgnosis in immunoglobulin light and heavy chain deposition dis ease.	Masai R Wakui H Komatsuda A Togashi M Maki N Ohtani H Oyama Y Sawada K	第三内科
Clin Nephrol.,72 46-54	Characteristics of proliferative glomerulonephritis with monoclonal IgG deposits associated with membranoproliferative features.	Masai R Wakui H Komatsuda A Togashi M Maki N Ohtani H Oyama Y Sawada K	第三内科
Blood.,114 3265-3275	Aberrant overexpression of microRNAs activate AKT signaling via down-regulation of tumor suppressors in natural killer-cell lypoma-leukemia.	Yamada Y Tagawa H Takahashi N Watanabe A Y G Mei Iwamoto K Yamashita J Saitoh H Kameoka Y Shimizu N Ichinohasama R Sawada K	第三内科
			小計 4

Blood.,113 396-402	MicroRNA-17-92 down-regulates expression of distinct target in different B-cell lymphoma subtypes.	Inomata M Tagawa H Y M Guo Kameoka Y Takahashi N Sawada K	第三内科
Am J Med Sci.,338 334-335	Reversible methotrexate-associated lymphoproliferative disorder resembling advanced gastric cancer in a patient with rheumatoid arthritis.	Satoh K Yoshida N Imaizumi K Yajima M Wakui H Sawada K Komatsuda A	第三内科
Eur J Clin Pharmacol. , 65 473-481	CYP3A5 Δ 1 allele associated with tacrolimus trough concentration but no tsubclinical acute rejection or chronic allograft nephropathy in Japanese renal transplant recipients.	Satoh S Saito M Inoue T Kagaya H Miura M Inoue K Komatsda A Tsuchiya N Suzuki T Habuchi T	第三内科
J Hematol Oncol., 14,2-28	RIZ1 is potential CML tumor suppressor that is down-regulated during disease progression.	Lakshmikutty amma A Takahashi M Pastural E Torlakovic E Amin H M Garcia-Maner o G Voralia M Czader M Decoteau JF Geyer C R	第三内科
Clin Cancer Res., 15,30-38	Array comparative genomic hybridization analysis of PTCL-U reveals a distinct subgroup with genetic alterations similar to lymphoma-type adult T-cell leukemia/lymphoma.	Karnan S Tagawa H UtsunomiyaA Nakamura S Takeuchi I Oshima K Seto M	第三内科

小計 5

Haematologica.,94 61-69	The potential of copy number gains and losses, detected by array-based comparative genomic hybridization, for computational differential diagnosis of B-cell lymphomas and genetic regions involved in lymphomagenesis.	Takeuchi I Tagawa H TsujiKawa A Nakagawa M Katayama-Su guru M Guo Y Seto M	第三内科
Blood.,114 2467-2475	TNFAIP3/A20 functions as a novel tumor suppressor gene in several subtypes of non-Hodgkin lymphomas.	Honma K Tsuzuki S Nakagawa M Tagawa H Nakamura S Morishima Y Seto M	第三内科
Pathology International .,56 817-822	Mast cell leukemia with rapidly progressing portal hypertension.	Yoshida M Nisikawa Y Yamamoto Y Doi Y Tokairin T Yoshida T Omori Y Watanabe A Takahashi N Yoshioka T Miura I Sawada K Enomoto K	第三内科
Arch Neurol	Symptomatic narcolepsy in patients with neuromyelitis optica and multiple sclerosis: new neurochemical and immunological implications.	神林 崇	精神科
Sleep	CSF histamine contents in narcolepsy, idiopathic hypersomnia and obstructive sleep apnea syndrome.	神林 崇	精神科
Psychiat Clin Neuros	Paradoxical reactions to hypnotic agents in adolescents with free-running disorder.	越前屋 勝	精神科

小計 6

Tohoku J Exp Med	Accurate Diagnosis of Peripheral Small Cell Lung Cancer with Computed Tomography.	M Hashimoto	放射線科
Japanese Journal Of Radiology	Three-dimensional bone-free computed tomographic angiography of aneurysms near the skull base using a new bone-removal application.	N Tomura	放射線科
JNET	骨変化を伴った海綿静脈洞部硬膜動静脈瘻	高橋 聡	放射線科
Br J Clin Pharmacol	Disposition of fexofenadine enantiomers with the P-glycoprotein inhibitor verapamil.	三浦 昌朋 等	薬剤部
Ther Drug Monit	Early phase limited sampling strategy characterizing tacrolimus and mycophenolic acid pharmacokinetics adapted to the maintenance phase of renal transplant patients.	三浦 昌朋 佐藤 滋 等	薬剤部 泌尿器科
Xenobiotica	Inter-individual difference determinant of prednisolone pharmacokinetics for Japanese renal transplant recipients in the maintenance stage.	三浦 昌朋 佐藤 滋 等	薬剤部 泌尿器科
Xenobiotica	Influence of carboxylesterase 2 genetic polymorphisms on mycophenolic acid pharmacokinetics in Japanese renal transplant recipients.	三浦 昌朋 佐藤 滋 等	薬剤部 泌尿器科
Eur J Clin Pharmacol	CYP3A5 *1 allele associated with tacrolimus trough concentrations but not subclinical acute rejection or chronic allograft nephropathy in Japanese renal transplant recipients.	佐藤 滋 三浦 昌朋 等	泌尿器科 薬剤部
Clin Chime Acta	Telmisartan pharmacokinetics in Japanese renal transplant recipients.	三浦 昌朋 佐藤 滋 等	薬剤部 泌尿器科

小計9

J Clin Pharm Ther	Effect of telmisartan, valsartan and candesartan on mycophenolate mofetil pharmacokinetics in Japanese renal transplant recipients.	三浦 昌朋 佐藤 滋 等	薬剤部 泌尿器科
Eur J Clin Pharmacol	No impact of age on dose-adjusted pharmacokinetics of tacrolimus, mycophenolic acid and prednisolone 1 month after renal transplantation.	三浦 昌朋 佐藤 滋 等	薬剤部 泌尿器科
Surgery	Interferon-gamma 874 A>T genetic polymorphism is associated with infectious complications following surgery in patients with thoracic esophageal cancer.	本山 悟 三浦 昌朋	食道外科 薬剤部
J Am Col Surg	CRP 1059 G>C genetic polymorphism influences serum CRP levels following esophagectomy in patients with thoracic esophageal cancer.	本山 悟 三浦 昌朋	食道外科 薬剤部
Ann Surg Oncol	CRP genetic polymorphism is associated with lymph node metastasis in thoracic esophageal squamous cell cancer.	本山 悟 三浦 昌朋	食道外科 薬剤部
Am J Pathol	Weaving Hypothesis of Cardiomyocyte Sarcomeres - Discovery of Periodic Broadening and Narrowing of Intercalated Disk during Volume-Load Change.	Nanjo H et al	病理部
Ann Surg Oncol	Clinical and prognostic significance of urinary trypsin inhibitor in patients with hepatocellular carcinoma after hepatectomy.	Nanjo H et al	病理部
Gynecol Oncol	Histopathological risk factors of local and distant recurrence.	Nanjo H et al	病理部
Urol Int	Cystoprostatectomy as a treatment of prostate cancer involving the bladder neck.	Nanjo H et al	病理部

小計 9

Gen Thorac Cardiovas k Surg	In situ replacement of the thoracic aorta using an equine pericardial roll graft for an aortobronchial fistula due to aortic rupture.	Nanjo H et al	病理部
Upsala Journal of Medical Sciences	Case Report-Langerhans cell histiocytosis of the sternum.	Nanjo H et al	病理部
Am J Pathol	Suppressive effect of orthovanadate on hepatic stellate cell activation and liver fibrosis in rats.	西川 祐司	病理部
Pathol Int	Mast cell leukemia with rapidly progressing portal hypertension..	吉田 正行	病理部
Int J Cancer	Cytoplasmic accumulation of connexin32 expands cancer stem cell population in human HuH7 hepatoma cells by enhancing its self-renewal.	川寄 洋平	病理部

(注)1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。）。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

小計5
合計179

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 荻原順一		
管理担当者氏名	総務課長 川村金蔵	医事課長 玉尾喜寿男	薬剤部長 三浦昌朋

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		病院日誌は総務課及び看護部、各科診療日誌は病棟、処方せんは薬剤部、エックス線写真は各診療科。それ以外は医事課(病歴室)	病院日誌・各科診療日誌は、月毎に紙媒体。 処方せんは、日毎に紙媒体。 エックス線写真は、患者毎に管理。 その他については、カルテに綴じ込み保管。(カルテは、外来は1患者1カルテ方式、入院は1入院1カルテ方式で保管。)
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	年度ごとに紙媒体
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課	
	高度の医療の研修の実績	総務課	
	閲覧実績	総務課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	年度ごとに患者別で紙媒体
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部	年度ごとに紙媒体
第規一則号第に一掲条のる十体一制第一項保各号状及	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医事課	年度ごとに紙媒体
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医事課	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部	

況び 第九 条の 二十三 第一 項	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医事課
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医事課
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医事課
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課

		保管場所	分類方法	
病院の管理 及び運営 に関する諸 記録	規 則 第 一 条 の 十 一 第 一 項 各 号 及 び 第 九 条 の 二 十 三 第 一 項 第 一 号 に 掲 げ る	院内感染のための 指針の策定状況	医事課	年度ごとに紙媒体
		院内感染対策のため の委員会の開催状 況	感染制御部	
		従業者に対する院 内感染対策のため の研修の実施状況	感染制御部	
		感染症の発生状況 の報告その他の院内 感染対策の推進を 目的とした改善た めの方策の実施状 況	感染制御部	
		医薬品の使用に係 る安全な管理のため の責任者の配置状 況	薬剤部	
	従業者に対する医 薬品の安全使用た め研修の実施状況	薬剤部		
	医薬品の安全使用 のための業務に関 する手順書の作成 及び当該手順書に 基づく業務の実 施状況	薬剤部		
	医薬品の安全使用 のために必要とな る情報の収集その 他医薬品の安全使 用を目的とした改 善のための方策の 実施状況	薬剤部		
	医療機器の安全使 用のための責任者 の配置状況	臨床工学センタ ー	一覧にして紙媒体	
	従業者に対する医 療機器の安全使用 のための研修の実 施状況	臨床工学センタ ー		
体 制 の 確 保				

	の 状	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学センター	一覧にして電子媒体
	況	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学センター	年度毎に紙媒体

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 荏原 順一
閲覧担当者氏名	総務課長 川村 金蔵
閲覧の求めに応じる場所	管理棟会議室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	79.3%	算定期間	平成21年4月1日～平成22年3月31日
算出根拠	A：紹介患者の数		8,168人
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数		7,541人
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数		933人
	D：初診の患者の数		13,432人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">(1)安全管理に関する基本的な考え方(2)安全管理のための委員会、その他組織に関する基本的事項(3)安全管理のための職員研修に関する基本方針(4)医療の安全確保を目的とした改善の方策に関する基本方針(5)医療事故等発生時の対応に関する基本方針(6)患者さんとの情報の共有に関する基本方針(7)患者さんからの相談対応に関する基本方針(8)その他医療安全の推進のために必要な基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 15 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">(1)医療に係る安全管理の指針に関すること。(2)医療に係る安全管理の体制に関すること。(3)医療安全に関するマニュアルに関すること。(4)医療の安全管理のための職員研修に関すること。(5)インシデントに関する調査・分析、改善策の策定・実施及び職員への周知に関すること。(6)医療事故の判定及び認定に関すること。(7)策定された改善策の評価及び見直しに関すること。(8)医療事故及び医事紛争の対応策に関すること。(9)その他医療の安全管理に関し必要なこと。	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 9 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>医療安全管理研修会（平成21年5月12日、5月29日、6月3日開催） 『医師・薬剤師のための当院静脈注射の実施に関する指針2009研修会』</p> <p>医療安全管理研修会（平成21年6月11日、6月26日、6月30日開催） 『インスリン治療の基礎知識とリスクマネジメント』 『職業感染を防止しよう！～インスリン注射に関連して～』 『平成20年度疑義照会例の検討と対策』</p> <p>医療安全管理研修会（平成21年7月14日、7月24日、7月30日開催） 『医療安全全国共同行動（日本版100K）について』 『周術期肺血栓塞栓症－日本における調査結果と予防法－』 『肺塞栓を見逃さない診断のポイントと治療』</p> <p>医療安全管理研修会（平成21年9月7日開催） 『人工呼吸器の安全管理』</p> <p>医療安全管理研修会（平成21年10月2日、10月14日、10月15日、平成22年3月15日、3月16日開催） 『感染制御と医療安全双方を経験して～共通点と相違点～』</p> <p>医療安全管理研修会（平成21年11月25日、平成22年1月7日、1月25日開催） 『接遇力向上セミナー』</p> <p>医療安全管理研修会（平成21年12月4日、12月16日、12月21日、平成22年3月15日、3月16日開催） 『診療記録の書き方について』 『法律家からみた診療録記載のあり方』</p> <p>医療安全管理研修会（平成22年1月18日、1月26日、1月28日開催） 『トラブルシューティング～人工呼吸器に関して～』 『薬剤適正使用のための血中濃度測定業務』 『医薬品業務手順書の見直し・検討』</p> <p>医療安全管理研修会（平成22年2月15日、2月25日開催） 『抗がん剤取り扱いにおけるリスクマネジメント』</p>	

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有・無)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
 - 発生した事故について医療安全管理委員会へ報告等を行う。
 - インシデント発生部署から報告された事例の改善案を基に、医療安全管理部において改善策の立案を行う。
 - その後、医療安全管理委員会において、改善策の評価及び見直しについて審議決定する。
 - 医療事故又は医療事故が疑われる事例に関しては、医療安全管理委員会において、改善策の策定、評価及び見直しについて審議決定する。
 - 重大な事故の発生時には、速やかに病院長へ報告する。
 - なお、事故の報告は診療録、看護記録等に基づき作成する。
 - また、以下について策定し、職員に周知した。
- (1)医療安全管理 「医療安全管理マニュアル」、「インシデント・医療事故発生時対応ポケットマニュアル」の改訂
- (2)予防処置
 - ・「秋田大学医学部附属病院における輸血拒否患者への対応に関する指針」の改訂 (平成21年8月)
 - ・メトホルミン (糖尿病薬) とヨード造影剤の併用使用チェック機能の追加 (平成21年10月)
 - ・「肺血栓塞栓症/深部静脈血栓症予防ガイドライン」・「静脈血栓症リスクレベル評価表」・「深部静脈血栓症・肺血栓塞栓症についての説明書」の作成 (平成22年3月)
 - ・バイポーラ電極のフライングリードから固定型プラグへの交換 (平成22年6月)
- (3)是正処置
 - ・中心静脈カテーテルの輸液ルート交換に対し、専用のディスプレイブルクランプ鉗子を導入 (平成21年6月)
 - ・組織診検査・細胞診検査提出から結果説明までのルールの一統及びフローチャート作成 (平成21年7月)
 - ・FFP融解方法の統一 (平成21年7月)
 - ・「採血管の種類について」一覧表の作成 (平成21年9月)
 - ・注射・検体採取・内服薬の指示伝達方法の統一 (平成21年9月)
 - ・「胃管チューブ誤挿入ハイリスク患者における経鼻栄養チューブ挿入時の確認フローチャート」の作成 (平成21年11月)
 - ・「中央検査部における異状値発生時の診療科への連絡体制について」フローチャート作成 (平成21年11月)
 - ・処方入力画面に「散剤は成分量入力」のコメントを追加し、成分量と製剤量が同時に表示されるようシステムを改修した。(平成21年12月)
 - ・輸液ポンプを貸し出す際に付ける「使用可能な輸液セット一覧」に「上記以外の輸液セットは使用しないでください」の文書を付けて払い出すことを追加した。また、輸液セットの統一化を図った。(平成22年3月)
 - ・点滴レールを用いた自殺未遂事例から、各病棟の点滴レール・フックの撤去 (平成22年5月)
 - ・酸素流量計落下事例から、酸素アウトレットの緊急点検と酸素流量計の接続について注意喚起の文書配布 (平成22年5, 6月)
 - ・オーダーシステム上、ノルバデックスを一般名の「タモキシフェン」に変更した。また、保険適応病名が入力されないと処方できないようにした。(平成22年8月)
 - ・微量採血管のバーコードラベル貼付可能な改良型容器への変更 (平成22年9月)

⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況 (有) (2名) ・ 無

⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況 (有) (3名) ・ 無

⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況 (有) ・ 無

- ・ 所属職員： 専任 (4) 名 兼任 (14) 名
- ・ 活動の主な内容：
 - (1)委員会 で用いられる資料及び議事要旨の作成並びに保存その他委員会の庶務に関すること。
 - (2)インシデントに関する診療録や看護記録等への記載が正確かつ十分になされていることを確認するとともに、必要な指導を行うこと。
 - (3)患者や家族への説明など事故発生時の対応状況について確認するとともに、必要な指導を行

<p>うこと。 (4)インシデントの原因究明が適切に実施されていることを確認するとともに、必要な指導を行 うこと。 (5)インシデント報告の調査・分析及び改善策の立案に関すること。 (6)インシデント報告の判定に関すること。 (7)委員会で策定された改善策の実施状況調査に関すること。 (8)医療の安全管理に関する指導方法に関すること。 (9)医療の安全管理のための職員研修の実施に関すること。 (10)医療安全に関するマニュアル及び各種マニュアルの作成・改訂作業に関すること。 (11)医療の安全に係る連絡調整に関すること。 (12)患者等から本院の医療に係る安全管理のための指針の閲覧の申し出があった場合、当該指針 の閲覧に供すること。 (13)その他医療安全対策の推進に関すること。</p>	
<p>⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確 保状況</p>	<p>有・無 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無</p>

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有 無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>(1) 院内感染対策に関する基本的な考え方 (2) 院内感染対策のための委員会，その他組織に関する基本事項 (3) 院内感染対策のための職員に対する研修に関する基本方針 (4) 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 (5) 院内感染症発生（アウトブレイク）時の対応に関する基本方針 (6) 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 (7) その他の当該病院等における院内感染対策の推進のために必要な基本方針</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 1 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>(1) 病院感染制御の指針に関すること。 (2) 病院感染制御の体制に関すること。 (3) 病院感染制御に関するマニュアルに関すること。 (4) 病院感染制御のための職員研修に関すること。 (5) 院内感染に関する調査・分析、改善策の策定・実施及び職員への周知に関すること。 (6) 策定された改善策の評価及び見直しに関すること。 (7) 院内感染の予防対策の実施及び指導に関すること。 (8) 感染発症時の処置に関すること。 (9) その他感染制御に関すること。</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 6 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>別紙のとおり</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>院内感染の発生状況を把握するため、院内における感染症の発生動向の情報を共有することで、院内感染の発生の予防及びまん延の防止を図る。 また、重大な院内感染等が発生し、院内のみでの対応が困難な事態が発生した場合、又は発生したことが疑われる場合には、地域の専門家等に相談が行われる体制を確保する。 さらに、「院内感染対策のための指針」に即した院内感染対策マニュアルを整備する等、その他の院内感染対策の推進のために必要な改善策を図るとともに、それらを定期的に見直す。 また、以下について策定し、職員に周知した。</p> <p>1. サーベイランス</p> <p>1) 薬剤耐性菌 2) 血液培養陽性例 3) 中心静脈カテーテル関連血流感染（血液内科・消化器内科・神経内科・ICU） 4) 人工呼吸器関連肺炎（ICU） 5) 手術部位感染（泌尿器科・整形外科） 6) メディカルデバイスカウント</p> <p>2. 抗菌薬適正使用のための活動</p> <p>1) サーベイランスデータに基づいた院内ラウンド（毎週木曜日） 2) メーリングリストによる院内ラウンド報告（病院長・ICT・ICLS） 3) 毎月の薬剤耐性菌サーベイランスレポート・抗菌薬使用状況・抗菌薬長期使用患者数報告等</p>	

- (ICC・ICT会議＝奇数月)
- 4) 一年間の抗菌薬使用状況・薬剤感受性の変化についての報告等 (ICC・ICT会議・ICLS会議＝奇数月)
 - 5) SSI予防投与遵守状況把握
3. マニュアル整備
- 1) 院内感染制御マニュアル
 - 2) 感染管理ベストプラクティス
 - 3) 手術部位感染とその予防及び同術期抗菌薬使用ガイドライン2008
 - 4) 抗菌薬使用ガイドライン2007
4. コンサルテーション
- 1) 感染経路別予防薬のための患者配置
 - 2) 針刺し皮膚粘膜曝露時対応
 - 3) 抗菌薬の選択と使用方法 (医師)
 - 4) その他
5. 感染管理のための教育
- 1) 研修会開催
 - 2) ICLS向けプレゼンテーション
 - 3) 手指衛生強化のための個人指導
 - 4) 外注業者対象
6. 環境整備 (ゾーニング等)

平成21年度 ICT研修会実施状況

平成22年10月1日

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	
研修会	医療安全管理・感染制御・薬剤部合同研修会 職業感染を防止しよう！～インスリン注射に関連して～	高知大学医学部附属病院における感染対策～カールバベネム系薬剤の適正使用をめぐって～	感染制御と医療安全双方を経験して～共通点と相違点～	新型インフルエンザ対応の経験	①院内感染対策、もっといざなぎましよう。そのためには？ ②当院における感染制御 薬剤師の役割 ③膿液のすすめ～グラム染色を始めよう～	(第1回研修会) リバイバル研修会	出前研修会(1) 創処置	出前研修会(2) 手指衛生	
院内感染対策のための基本的考え方	インスリン注射を安全に実施することは、もとより、その業務に関わる医療従事者の職業感染防止も安全確保として必要である。	耐性菌の発生、拡大伝播防止対策が感染制御の鍵となる。	感染制御と医療安全管理は協働して医療の質を向上させることができる。	新型インフルエンザ対応に関する現行で可能な対策、診療計画立案が必要である。	感染制御は、施設内の多職種が専門性を発揮しつつ、連携して活動することが必要である。	医療安全管理・感染制御・薬剤部合同研修会 (DVD研修)	耳鼻科病棟におけるSSI防止対策について	口腔外科におけるSSI防止対策について	
具体的方策	ペン型インスリン注射後は、安全器材を使用した針処理をすること。一体型注射器では抜針直後に廃棄できるように耐菌通性廃棄容器を準備することの徹底を指導した。	MDRRPアウトブレイクの経験から、カルバペネム系薬剤の適正使用、院内監視、サーベイランス、アウトパブリックによる医療現場へのフィードバックなどに関する示唆。	担当者として経験した感染制御と医療安全管理を担った経験から、活動の共通点と相違点について。	過去のインフルエンザに関する話題と新型インフルエンザ対策としてのワチン接種と発症時の医学的対応、社会的対応、絶対的対応、相対的対応についての示唆。	・事務職として情報管理・データや書類管理・渉外、ICTリハとして役割確立について報告。 ・薬剤師としてデータの管理と活用、抗菌剤適正使用にむけた活動報告。 ・臨床検査技師として細菌検査の精度向上とデータ提示、研修医の教育について報告。	創処置時の手指衛生にタイミング・適切なPPE使用、医療の質保証について提案と意見交換。	創処置時の医師・看護職の協働の重要性の確認、情報共有の方法について検討した。		
講師	感染制御部 ICN 富田 典子	高知大学医学部附属病院 総合診療部 準教授 武内 世生 氏	北海道大学病院 医療安全管理部 准教授 南須原 康行 氏	大阪大学医学部附属病院 感染制御部長 教授 朝野 和典 氏	① 敦田 赤十字病院長 藤原 隆 氏 総務課 水澤 彰 氏 ② 中通 総合病院 薬剤部 部長 佐々木 修 氏 ③ 平鹿 総合病院 検査部 部長 後藤 孝則 氏	老年科准教授 成田 琢 磨 感染制御部 富田 典子 薬剤部 植井 了三	感染制御部 ICN 富田 典子	感染制御部 ICN 富田 典子	
開催日	21. 6. 11 21. 6. 26 (DVD) 21. 6. 30 (DVD)	21. 7. 17	21. 10. 2	21. 11. 13	22. 2. 24	22. 3. 15 22. 3. 16	22. 1. 25	22. 2. 26	

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回
医師 在籍人数 (334)	101	33	101	142	47	64	8	8
看護師 (547)	438	102	424	157	68	18	11	37
臨床検査技師 (40)	32	7	31	11	5	0	0	0
放射線技師 (23)	17	6	21	6	3	0	0	0
薬剤師 (22)	21	2	20	2	22	0	0	0
事務 (135)	31	14	86	71	41	16	0	0
その他 (31)	18	3	20	6	6	1	1	1
出席人数 (1132)	658	167	703	395	192	99	20	46

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 5回
<p>・ 研修の主な内容： 別紙のとおり</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 (有 無) ・ 業務の主な内容： [手順書の内容]</p> <p>(1) 医薬品の採用, (2) 医薬品の購入, (3) 調剤室における医薬品管理, (4) 麻薬室における医薬品管理, (5) 薬品供給室における医薬品管理, (6) 製剤室における医薬品管理, (7) 病棟における医薬品管理, (8) 外来患者への医薬品管理, (9) 入院患者への医薬品管理, (10) 手術・麻酔部門, (11) 集中治療室, (12) 救急部門, (13) 医薬品情報の収集・管理・提供, (14) 他施設との連携, (15) 事故発生時の対応, (16) 教育・研修</p> <p>手順書に基づき定期的に実施状況を確認し、その確認内容を記録している。(年1回)</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>ユヤマ調剤支援システム、PMDA、緊急安全性情報、医薬品・医療機器等安全性情報、医薬品安全対策情報等より情報を収集している。院内の医療従事者への情報提供は、病院情報システム・インフォメーション、薬品情報誌、薬剤管理指導支援システム MDbank 検索システム、院内メール等で、また薬剤部内への情報提供は、薬剤部全体会議（週1回開催）、病棟業務に関する薬剤部カンファランス（週1回開催）、医薬品説明会、薬品情報誌、院内メール等で行なっている。</p>	

従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況

研修の主な内容

No.	開催日	タイトル	項目	医療法上の必要事項
1	H21.4.3 (医師)	新人(医師・看護師)に対しての薬剤部業務全般についての研修会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 薬剤部の組織業務区分 2. 薬品の搬送 3. 調剤、注射薬供給について 4. 化学療法レジメン運用 5. 麻薬の取り扱い 6. 疑義照会について 	<ul style="list-style-type: none"> ・医薬品の有効性に関する事項 ・医薬品の安全性に関する事項 ・医薬品の使用方法に関する事項 ・医薬品による副作用が発生した場合の対応(施設内での報告、行政機関への報告等)に関する事項
	H21.4.2 (看護師)			
3	H21.6.11	「平成20年度疑義照会例の検討と対策」	<ol style="list-style-type: none"> 1. 疑義照会の件数 2. 疑義照会例(処方量間違い、薬品名間違い、単位間違い、投与方法間違い、等に関する事例) 3. 疑義照会を減少させる対策と効果 4. 医薬品業務手順書の変更点の説明(病棟等における医薬品の管理、事故発生時の対応、教育研修) 	<ul style="list-style-type: none"> ・医薬品の有効性に関する事項 ・医薬品の安全性に関する事項 ・医薬品の使用方法に関する事項 ・医薬品の安全使用のための業務に関する手順書に関する事項 ・医薬品による副作用が発生した場合の対応(施設内での報告、行政機関への報告等)に関する事項
	H21.6.26 DVD研修			
	H21.6.30 DVD研修			
	H22.1.18			
4	H22.1.26 DVD研修	「薬剤適正使用のための血中濃度測定業務」	<ol style="list-style-type: none"> 1. 血中濃度測定の概要(TDM)について、業務の流れ、依頼方法、採血時間・採血管について、PK-PD) 2. 血中濃度測定の留意点(MRSA検出、PK-PD、投与设计) 3. TDMの実践(投与量とその効果) 	<ul style="list-style-type: none"> ・医薬品の有効性に関する事項 ・医薬品の安全性に関する事項 ・医薬品の使用方法に関する事項
	H22.1.28 DVD研修			
	H22.2.15			
5	H22.2.15	「抗がん剤取り扱いにおけるリスクマネージメント」	<ol style="list-style-type: none"> 1. 抗がん剤の調製について 2. 抗がん剤の暴露について 3. 抗がん剤の取り扱いについて 4. 抗がん剤の副作用とリスクマネージメント 5. 抗がん剤に関する薬物相互作用 	<ul style="list-style-type: none"> ・医薬品の有効性に関する事項 ・医薬品の安全性に関する事項 ・医薬品の使用方法に関する事項
	H22.2.25 DVD研修			

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 4 0 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： 使用経験のない新しい医療機器の導入時及び特に安全使用に際して技術の習得が必要と考えられる医療機器に関して、その有効性・安全性、使用方法、保守点検、不具合発生時の対応、並びに特に法令上遵守すべき事項に関する研修を定期的に行い、その実施内容を記録している。 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画の策定 (有・無) ・ 保守点検の主な内容： 保守点検に関する計画の策定に当たっては、医療機器の添付文書に記載されている保守点検に関する事項を参照するとともに、必要に応じて当該医療機器の製造販売業者から情報を提供してもらい、機種別に保守点検の時期等を記載している。 また、保守点検の実施に当たっては、その実施状況、使用状況、修理状況並びに購入年等を把握し記録するとともに、保守点検の実施状況を評価し、必要に応じて安全面に十分配慮した医療機器の採用に関する助言、保守点検計画の見直しを行っている。 なお、保守点検を外部に委託する場合も同様の対応を行い、実施状況の記録を保存している。内容については別紙のとおり。 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 医療機器の使用に当たっては、当該医療機器の製造販売業者が指定する使用方法を遵守するべく、医療機器の添付文書、取扱説明書等の安全使用・保守点検等に関する情報を整理・管理している。 また、医療機器の不具合情報や安全性情報等の安全使用に資する情報を製造販売業者等から一元的に収集し、得られた情報を当該医療機器に携わる者へ提供するとともに、管理している医療機器の不具合や健康被害等に関する内外の情報を収集し、病院長への報告等を行っている。 なお、情報の収集等においては、製造販売業者が行う医療機器の適正な使用のために必要な情報の収集に対して病院が協力するよう努めること、及び医療機器について当該品目の副作用等の発生を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するため必要があると認めるときは、厚生労働大臣に対して副作用等の報告義務があることに留意し当たっている。 	

機器種類名	メーカー	機器型式	取得日	取得区分	点検スケジュール名	点検周期	点検予定日				点検実施日				
シリンジポンプ	テルモ	TE-331SON	2008/7/4	購入	定期点検	52週							2009/6/19		
シリンジポンプ	テルモ	TE-331SON	2008/7/4	購入	定期点検	52週							2009/6/25		
シリンジポンプ	テルモ	TE-331SON	2008/7/4	購入	定期点検	52週							2009/6/26		
シリンジポンプ	テルモ	TE-331SON	2008/7/4	購入	定期点検	52週							2009/6/5		
シリンジポンプ	テルモ	TE-331SON	2008/7/4	購入	定期点検	52週							2009/6/30		
シリンジポンプ	テルモ	TE-331SON	2008/7/4	購入	定期点検	52週							2009/7/9		
シリンジポンプ	テルモ	TE-331SON	2008/7/4	購入	定期点検	52週							2009/8/10		
シリンジポンプ	テルモ	TE-331SON	2008/7/4	購入	定期点検	52週							2009/7/16		
シリンジポンプ	テルモ	TE-331SON	2008/7/4	購入	定期点検	52週							2009/7/14		
シリンジポンプ	テルモ	TE-331SON	2008/7/4	購入	定期点検	52週							2009/6/26		
シリンジポンプ	テルモ	TE-331SON	2008/7/4	購入	定期点検	52週							2009/6/26		
シリンジポンプ	テルモ	TE-331SON	2008/7/4	購入	定期点検	52週							2009/6/3		
シリンジポンプ	テルモ	TE-331SON	2008/7/4	購入	定期点検	52週							2009/8/4		
シリンジポンプ	テルモ	TE-331SON	2008/7/4	購入	定期点検	52週							2009/6/23		
シリンジポンプ	テルモ	TE-331SON	2008/7/4	購入	定期点検	52週							2009/8/4		
シリンジポンプ	テルモ	TE-331SON	2008/7/4	購入	定期点検	52週							2009/8/3		
シリンジポンプ	テルモ	TE-331SON	2008/7/4	購入	定期点検	52週							2009/8/3		
シリンジポンプ	テルモ	TE-331SON	2008/7/4	購入	定期点検	52週							2009/6/25		
シリンジポンプ	テルモ	TE-331SON	2008/7/4	購入	定期点検	52週							2009/7/14		
シリンジポンプ	テルモ	TE-331SON	2008/7/4	購入	定期点検	52週							2009/6/30		
シリンジポンプ	テルモ	TE-331SON	2008/7/4	購入	定期点検	52週							2009/6/30		
シリンジポンプ	テルモ	TE-331SON	2008/7/4	購入	定期点検	52週							2009/6/23		
シリンジポンプ	テルモ	TE-331SON	2008/7/4	購入	定期点検	52週							2009/7/9		
シリンジポンプ	テルモ	TE-331SON	2008/7/4	購入	定期点検	52週							2009/6/19		
シリンジポンプ	テルモ	TE-331SON	2008/7/4	購入	定期点検	52週							2009/6/19		
シリンジポンプ	テルモ	TE-331SON	2008/7/4	購入	定期点検	52週							2009/6/26		
シリンジポンプ	テルモ	TE-331SON	2008/7/4	購入	定期点検	52週							2009/7/1		
シリンジポンプ	テルモ	TE-331SON	2008/7/4	購入	定期点検	52週							2009/7/3		
シリンジポンプ	テルモ	TE-331SON	2008/7/4	購入	定期点検	52週							2009/7/14		
シリンジポンプ	テルモ	TE-331SON	2008/7/4	購入	定期点検	52週							2009/7/9		
シリンジポンプ	テルモ	TE-3121C	2002/12/10	購入	定期点検	52週	3月								
シリンジポンプ	テルモ	TE-3121C	2002/12/10	購入	定期点検	52週							2009/10/29		
シリンジポンプ	テルモ	STC-525X	2002/12/10	購入	定期点検	52週	2月								
シリンジポンプ	テルモ	STC-525X	2002/12/13	購入	定期点検	52週	4月								
シリンジポンプ	テルモ	TE-371	2003/5/6	購入	定期点検	52週	11月								
シリンジポンプ	テルモ	TE-3121C	2003/5/9	購入	定期点検	52週							2009/6/18		
シリンジポンプ	テルモ	TE-371	2003/8/14	購入	定期点検	52週							2010/3/15		
シリンジポンプ	テルモ	STC-525X	2003/8/15	購入	定期点検	52週	4月								
シリンジポンプ	テルモ	STC-525X	2003/8/15	購入	定期点検	52週	3月								
シリンジポンプ	ニプロ	SP-70	2003/8/15	購入	定期点検	52週	11月								
シリンジポンプ	テルモ	TE-3110N	2002/7/2	購入	定期点検	52週							2010/9/3		
シリンジポンプ	テルモ	TE-3110N	2002/7/2	購入	定期点検	52週	3月								

2009年度 保守点検計画書

機種種別名	メーカー	機種型式	取得日	取得区分	点検スケジュール名	点検周期	点検予定日	点検実施日
人工呼吸器 タイコ		ベネット 840	2006/3/1	購入	定期点検	52週	2009/10/21	
人工呼吸器 タイコ		ベネット 840	2006/3/13	購入	定期点検	52週	2009/7/15	
人工呼吸器 タイコ		ベネット 840	2006/3/15	購入	定期点検	52週	2009/8/18	
人工呼吸器 タイコ		ベネット 840	2006/4/12	購入	定期点検	52週	2009/9/28	
人工呼吸器 東北エア・ウオーター		セクリスト IV-100B	2005/9/8	購入	定期点検	52週	2009/8/12	
人工呼吸器 メトラン		カリオベ	2005/9/14	購入	定期点検	52週	2009/9/7	
人工呼吸器 NEWPORT MEDICAL INSTRUMENT		Model EI00A	2005/8/26	購入	定期点検	52週	2009/6/25	
人工呼吸器 東北エア・ウオーター		インフアントフローシステムDC	2005/8/31	購入	定期点検	52週	2009/4/2	
人工呼吸器 NEWPORT MEDICAL INSTRUMENT		Model EI00A	2005/9/9	購入	定期点検	52週	2009/6/4	
人工呼吸器 東北エア・ウオーター		セクリスト IV-100B	2005/9/14	購入	定期点検	52週	2009/7/3	
人工呼吸器 フクダ電子		サーボ 900C	2005/10/20	購入	定期点検	52週	2009/8/5	
人工呼吸器 東北エア・ウオーター		インフアントフローシステムDC	2005/10/24	購入	定期点検	52週	2009/7/10	
人工呼吸器 メトラン		カリオベ	2005/11/24	購入	定期点検	52週	2009/7/9	
人工呼吸器 フクダ電子		サーボ i インフアント	2008/3/5	購入	定期点検	52週	2009/6/22	
人工呼吸器 アイ.エム.アイ		VELAコンプリ	2008/3/25	購入	定期点検	52週	2009/4/1	
人工呼吸器 アイ.エム.アイ		VELAコンプリ	2008/3/25	購入	定期点検	52週	2009/6/9	
人工呼吸器 アイ.エム.アイ		VELAコンプリ	2008/6/30	購入	定期点検	52週	2009/7/21	
人工呼吸器 フクダ電子		サーボ i インフアント	2008/6/30	購入	定期点検	52週	2009/7/29	
人工呼吸器 フクダ電子		サーボ 900C	2005/8/26	購入	定期点検	52週	2010/9/10	
人工呼吸器 NEWPORT MEDICAL INSTRUMENT		Model EI00A	2005/8/26	購入	定期点検	52週	2010/10/26	
人工呼吸器 フクダ電子		サーボ i インフアント	2008/6/30	購入	定期点検	52週	2009/7/29	

2009年度 保守点検計画書

機器種類名	メーカー	機器型式	取得日	取得区分	点検スケジュール名	点検周期	点検予定日	点検実施日
除細動器	アイリップスメデイカル	ハートスタート FR2+	2005/8/9	購入	定期点検	13週	2009/6/15	2009/9/9
除細動器	アクダ電子	FC-710	2005/9/1	購入	定期点検	13週	2009/5/20	2009/9/15
除細動器	アイリップスメデイカル	ハートスタート FR2+	2005/10/13	購入	定期点検	13週	2009/8/11	2010/3/11
除細動器	アクダ電子	FC-560	2005/10/26	購入	定期点検	13週	2009/6/3	
除細動器	アクダ電子	FC-560	2005/11/2	購入	定期点検	13週	2009/7/16	
除細動器	アクダ電子	FC-560	2005/11/10	購入	定期点検	13週	2009/6/18	
除細動器	アクダ電子	FC-1400	2005/11/17	購入	定期点検	13週	2009/8/12	
除細動器	アイリップスメデイカル	ハートスタート XL	2005/12/15	購入	定期点検	13週	2009/8/11	
除細動器	アイリップスメデイカル	ハートスタート XL	2005/12/20	購入	定期点検	13週	2009/9/10	
除細動器	アイリップスメデイカル	ハートスタート XL	2006/3/10	購入	定期点検	13週	2009/8/31	
除細動器	アクダ電子	FC-560	2006/7/11	購入	定期点検	13週	2009/5/26	
除細動器	アイリップスメデイカル	ハートスタート FR2+	2006/7/21	購入	定期点検	13週	2009/6/15	2009/9/9
除細動器	アイリップスメデイカル	ハートスタート FR2+	2006/8/25	購入	定期点検	13週	2009/7/16	2009/11/10
除細動器	アイリップスメデイカル	ハートスタート FR2+	2006/9/6	購入	定期点検	13週	2009/6/15	2009/8/27
除細動器	アイリップスメデイカル	ハートスタート FR2+	2006/9/12	購入	定期点検	13週	2009/4/2	2009/8/11
除細動器	アクダ電子	FC-200	2006/11/22	購入	定期点検	13週	2009/8/10	2010/1/20
除細動器	アイリップスメデイカル	ハートスタート XL	2008/2/8	購入	定期点検	13週	2009/5/26	
除細動器	アイリップスメデイカル	ハートスタート XL			定期点検	3ヶ月	2010/3/19	

2009年度 保守点検計画書

機器種類名	メーカー	機器型式	取得日	取得区分	点検スケジュール名	点検周期	点検予定日	点検実施日
直線加速器	バリアン	CLINAC iX	2009/3/25		定期点検	3ヶ月		2009/11/4
直線加速器	バリアン	CLINAC 600C	2009/3/25		定期点検	3ヶ月		2009/6/27
リモートアタクターローリンダ	バリアン	VariSource	2000/3/30		定期点検	3ヶ月		2009/6/12
								2009/8/12
								2009/3/23
								2009/3/13
								2009/9/9
								2009/9/11
								2009/12/10
								2009/12/11

2009年度 保守点検計画書

機器種類名	メーカー	機器型式	取得日	取得区分	メンテナンス	点検周期	12月	点検予定日	点検実施日
ジラファミニベッド	エア・ウォーター	M236000160	2008/11/1	購入		52週	12月		
ジラファミニベッド	エア・ウォーター	M236000160	2008/11/1	購入		52週	12月		
ジラファミニベッド	エア・ウォーター	M236000160	2007/9/1	購入		52週	12月		
アトム保育器	アトムデジタル	V-850	1994/3/15	購入		52週	12月	2009/12/16	
アトム保育器	アトムデジタル	V-2100	1998/1/20	購入		52週	12月	2009/12/16	
アトム保育器	アトムデジタル	V-2100G	2007/11/29	購入		52週	12月	2009/12/16	
アトム保育器	アトムデジタル	V-2100G	2007/11/29	購入		52週	12月	2009/12/16	
アトム保育器	アトムデジタル	V-2200	2008/11/20	購入		52週	12月	2009/12/16	
アトム保育器	アトムデジタル	V-850	1991/7/10	購入	1年点検	52週	12月	2009/12/16	
アトム保育器	アトムデジタル	V-850SC	1990/10/22	購入	1年点検	52週	12月	2010/1/13	
アトム保育器	アトムデジタル	V-2100	1998/3/3	購入	1年点検	52週	12月	2010/1/13	
アトム保育器	アトムデジタル	V-2100	1998/5/6	購入	1年点検	52週	12月	2009/12/16	